

## あいさつ運動を推進するとともに、お互いの良さや違いを認め合える児童生徒の育成を図る。

ねがい

### 〈 目的 〉

土庄町では、「自分のことは、自分でする子」の育成をめざし、主体性の教育に力を入れています。正しく判断し、進んで行動できる児童生徒を育てるために、朝のあいさつ運動を推進するとともに、人権意識を高めてお互いの良さや違いを認め合える児童生徒の育成を図ることにしました。

### 〈 内容 〉

#### ● 小中合同のあいさつ運動

2学期の1週目に、中学校の生徒会役員が校区内の全小学校へ朝の登校時間に訪問して、あいさつ運動を実施しました。小学生の児童は、中学生の先輩が来てくれたことに対して大変な喜びようでした。

あいさつだけでなくハイタッチなども行い、日頃以上の笑顔であいさつ運動ができました。次回は3学期の1週目に、児童会・生徒会役員だけでなく有志を募って実施する予定です。



【中学生が小学校であいさつ運動している様子】

#### ● 小中合同の人権学習

11月24日(土)に、土庄町人権フェスタ2012を開催しました。「じぶんが好き、なかまが好き、ふるさとが好き」をテーマに、町内の幼稚園児・小学生・中学生が集まり、各校(園)が人権学習の成果を発表したり、講演を聴いたり、また友達の意見を聞いたりして、お互いが大切に合えるなかまとしてのつながりを育てることの大切さを学習しました。

特に、松村智広さんの講演を聴いた後の中学生のこころのつどい(語り合い学習)では、現実にある差別について知り、それをなくしていこうとする意欲が高まりました。



【小学生が人権劇をしている様子】

高まり

### 〈 成果 〉

この取組を通して、朝のさわやかなあいさつが自分からできる児童生徒が増えました。特に、学校関係の方だけでなく、地域の方々にもあいさつができるようになってきました。

また、人権尊重に対する意識が高まり、ほとんどの児童生徒が友だちに対して「チクチクことば」でなく「あったかことば」を多く遣うようになってきました。

今後さらに、一層効果的な取組となるように、小中の連携を密にしていきたいと考えています。